

倉敷市児島市民 交流センター ジーンズホール



所在地：岡山県倉敷市児島味野2-2-38
(図書館・ホール棟)
延床面積：5,781.43㎡
施主：倉敷市
設計：特設計・丸満エネルギー設計共同体
施工：建築／前田建設工業㈱・三島産業㈱・㈱ハラダ共同企業体
電気設備／東陽電気㈱
機械設備／日本ファンリオ㈱・三栄工業㈱共同企業体
オープン：平成23年10月

S139

市民の交流や文化・コミュニティ活動などの拠点施設として、倉敷市児島市民交流センターがオープン。新築された図書館・ホール棟3階の「ジーンズホール」には、演奏会時に使用する放熱・省エネルギーに配慮したLEDの音響反射板ライトが採用されています。

市民の交流や文化・コミュニティ活動などの拠点となる施設がオープン

明治の頃より紡績業が盛んで、国産ジーンズ発祥の地となった倉敷市児島地区。この地域における市民の交流や文化・コミュニティ活動の拠点となる施設として、倉敷市児島市民交流センターがオープンしました。

新築された図書館・ホール棟の3階には、演奏会や演劇、映画の上映などができる客席数292席の「ジーンズホール」が設けられました。児島の繊維産業の象徴であるデニム生地を瀬戸内海の家と空をデザインした緞帳が設置された舞台の照明設備には、演奏会が催される際に使用するLED音響反射板ライト4000クラスが採用され、省電力で放熱も少なくしながら繊細な音響空間を創出しています。

LED音響反射板ライトを採用し、省エネしながら最適な演奏照明環境を実現

ホールでクラシック音楽等の演奏会が行われる際、美しい音色を効果的に伝える音響反射板は天井反射板、左右の反射板、正面反射板で構築されます。照明は、天井反射板にLED音響反射板ライト4000クラス(消費電力96W、相関色温度2950K)が規則配列で設置されています。このLED音響反射板ライトは、従来のハロゲン器具同等品に比べ、消費電力を68%削減、CO₂排出量約5.5トン/年を削減しながら、同等以上の床面照度を確保しています。

また、LED光源は放熱が少ないため、ステージ上の演奏者へは暑さを感じさせることがないとともに、熱による楽器への影響も少なく、演奏者・楽器にやさしい環境となっています。

このほか、20,000時間の長寿命により、危険を伴う高所でのランプ交換作業の必要もなく、安全・安心で、かつランニングコストの大幅な低減を可能にしています。同時に灯具本体の熱がほとんどないため、建築部材の熱膨張・収縮を起こさず、摩擦音・こすれ音もなく静かな演奏空間が創出されています。



演奏会が催される際に使用される反射板設備、その照明に採用されたLED音響反射板ライト4000クラス。



音響反射板を設置した舞台を観客席横側から望む



LED音響反射板ライト



調光室の調光操作卓越しに舞台を望む

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ・備考
ホール内	LED音響反射板ライト4000クラス	AL-LED-ON-4-L	24	LED 消費電力:96W
	平凸レンズスポットライト	AL-AQS-5R	24	500Wハロゲンランプ
		AL-AQS-10R-3	26	1kWハロゲンランプ
	フレネルレンズスポットライト	AL-AQF-5R	12	500Wハロゲンランプ
	エアプソイダルスポットライト	SOUCEFOUR-426	4	750Wハロゲンランプ
	ボーダーライト	AL-BLQ-212-3C	2列	150Wハロゲンランプ×72
	アッパーホリゾントライト	AL-UHQ-212-3C	1列	150Wハロゲンランプ×72
	ローアホリゾントライト	AL-LHQ-212-3	1列	150Wハロゲンランプ×72